

# 辺野古の海に土砂投入は許されない！

奄美・九州や瀬戸内海の自然を破壊し、特定外来生物を持ち込み、辺野古の海を破壊する

## 西日本からの辺野古埋立て用 土砂採取計画の撤回を求めます！

内閣総理大臣 殿  
衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

◆ 辺野古新基地は、約 2,100 万㎡の土砂（うち約 80%は岩ズリ）により、ジュゴン、ウミガメ、サンゴ類の棲む生物多様性の豊かな海を埋めて造られます。

◆ 埋め立て用土砂の約 75%は、奄美・九州や瀬戸内海など西日本各地から持ち出す計画です。土砂を持ち去られる地では、生物多様性から重要度の高い山や海の自然破壊が進んでいます。

◆ 気候帯や生態系の異なる地からの大量の土砂持ち込みは、アルゼンチンアリ、ハイロゴケグモ、オオキンケイギクなど特定外来生物を持ち込み、沖縄本島独自の生態系を破壊し、農林水産業に被害をもたらします。

◆ 上記 3 点はどれも、生物多様性条約、生物多様性基本法、それに基づいた生物多様性国家戦略に真っ向から違反します。自然は一度つぶしたら元には戻りません。

生物多様性国家戦略を守る責務がある防衛省が、外来生物の防除対策も示さないまま土砂投入を始めることは、国による犯罪行為がまかり通ることで、決して許されません。

◆ 辺野古新基地のための埋立ては、平和を望み、豊かな生物多様性の保持された自然とともに暮らしていきたいとの沖縄県民の意思を踏みにじるものです。

私たちは、「どの故郷にも戦争に使う土砂は一粒もない」との思いから、

辺野古新基地建設の土砂投入の中止、及び西日本からの土砂採取計画の撤回を強く求めます。

名 前	住 所

取扱団体

\* 署名第一次締め切り：2018 年 10 月末

\* 署名用紙は下記送付先に郵送して下さい。この署名は厳重に管理し、目的外には使用されることはありません。

**辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会** 共同代表 大津幸夫 阿部悦子

署名送付先 「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会

〒 803-0816 北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方